

千石平



社会福祉法人萱垣会
題字 萱垣幸道

第56号

季刊 千石平 第56号 平成28年9月20日発行

発行人 萱垣光英 発行所 社会福祉法人萱垣会 特別養護老人ホーム 赤石寮
〒399-1612 長野県下伊那郡阿南町新野28-4 TEL 0260-24-2316 FAX 0260-24-2315
E-mail akaishiryo@mis.janis.or.jp



でも続く様に。

良い笑顔がいつま

皆さんのこんな

が聴こえてきそう。

そんな二人の声

でなあ…」

美味しく焼いてやる

「待つとれよ」



『三〇年という時を思う』

特別養護老人ホーム赤石寮 施設長 萱垣憲英

今年、平成二八年。昭和に換算すると昭和九一年だ。なぜ昭和に換算するかというと、赤石寮が飯田市鼎から阿南町新野へ移転したのが、昭和六一年だったからだ。つまり、今年で三〇年が経過した。

今から三〇年前は何があったのだろうか。私のその頃の記憶は、何らかの病気で飯田市立病院に入院して、院内学級で算数を教えてもらっていたことくらいしか残っていない。もちろん赤石寮は知らなかった。

一方で世の中は、チャレンジャー号が爆発事故を起こし、マラドーナが五人抜きをして、日本ではバブルの兆しが見えていた頃らしい。しかし、未だに人類は火星には行けないし、マラドーナを超える選手は出てきておらず、失われた二〇年で世界の一人当たりの名目GDPランキングは二七位まで下がった。

高齢者をめぐる実態は、昭和六一年の国民生活基礎調査では六五歳以上で寝た

きり六ヶ月以上の人は二万人とされ、昭和六二年の厚生省調査では死亡前に五％の人が二ヶ月以上、三七％の人が六ヶ月以上床に付いているとする結果が公表された。寝たきりや認知症などの高齢者の増大と介護の長期化が進む中で、家族は高齢者を支えきれず、病院への入院を選択せざるを得なくなっていたのである。さらに、頼みの綱とされた老親と家族の同居率も急速に低下し続け、高齢者を家族で支えようとする「日本型福祉社会論」は、日本社会の現実の前に実質的に破綻していった。

その後も高齢者の大量入院は続き、こうした入院患者は、疾病の治療という医学的理由ではなく、別の社会的理由で入院するという意味で「社会的入院」と呼ばれることとなった。そうした中で、老人病院では劣悪な看護体制の下で多くの患者が「薬漬け」となり、ベッドに寝たきりになっている実態が明らかになっていく。これらの高齢者に必要なのは、「疾

病の治療」ではなく、残存している「心身の機能維持・回復」と「社会的な自立支援」であった。

しかし当時の高齢者福祉は措置制度によって運営されており、低所得者など保護の必要な一部の者に対して、公権力による行政処分としてサービス提供が決定されていた。在宅福祉サービスも極めて限られた人々にしか提供されておらず、老人保健施設が創設されたのも昭和六一年になってからであった。

そうした時代背景から、赤石寮ではこの三〇年間数多の先輩や地域の方々のお陰で、デイサービスや居宅介護支援を開設し、介護保険制度施行後は、ショートステイを増床し、グループホーム、ホームヘルプ、支援ハウスを社会の求めに応じて展開してきた。これは「社会的入院」から「社会による介護」、「地域による介護」への変遷とも言えよう。今では私もお風呂の中で子供に算数を教えている。



ひだまりユニット

ひだまりの活動の記録

ひだまりユニットでは「生活の中に楽しみを。皆様に1日1笑して頂く」をユニット目標の1つにあげ利用者様に楽しんで頂ける様、取り組んでいます。これからも利用者様の生活に笑顔がみられるよう、活動に力を入れていきたいと思ひます。

おより亭

施設を離れ地域のボランティアさんと楽しくお話をしながら食事をしました。

ちらし寿司を食べたいと希望があり皆でちらし寿司を作り食べて頂きました。会話にも花が咲き普段聞けない話も聞く事が出来笑顔も見られました。



中庭での昼食



天気が良かったので中庭へ出てお花を見ながら食事をされました。

少し日差しが強く、帽子をかぶって食事をされる方もちらほら。皆様ピクニック気分で会話もはずまれています。



～色んな行事の「いいね♪」集めました。～

全体行事・ユニット行事・地域の方々との交流など…1年の中で様々な行事を行っています。これからも多くの利用者様の笑顔が見られるように取り組んでいきます。

なびをクリミ

いちご狩り



まだまだ食べられるよ！

レクリエーション



タコ釣れました。

流しそうめん



来るなら来い！



おいしそう♪



盆踊り・花火大会



踊る前にしっかり食べなきゃね。

赤石玄関にて



小学生がお花を植えに来てくれました。

〈あじさいユニット活動の記録〉

あじさいユニットには「利用者様の気持ちに寄り添い、目線を合わせ話す」という目標があります。

日々のレクリエーションや、季節の行事等に参加し利用者様の気持ちに寄り添いながら、利用者様に楽しんで頂けるよう職員全員で取り組んでいます。

あじさいユニット

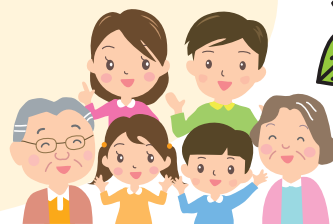
お花見

4月にコミュニティーの森へお花見に行きました。傾合いが良く満開のキレイな桜を見る事が出来ました。



家族会

5月末、家族会を行いました。ご家族の皆様と食事をし、余興に新野の雪まつりの舞を観賞しました。



夏祭り

8月に赤石寮夏祭り花火大会がありました。屋台の食事や、職員の踊り、花火を全員で楽しみました。



デイサービスセンター

はなのき荘



連日、デイサービスはにぎやか！利用者様のほとんどが、入浴されます。午前中の浴室は、笑い絶えません。裸の付き合いはおおらかになると申しますが、他愛のない事でも大笑い。笑う事は健康に貢献しています。



さわやかな夏のちぎり絵

外出する事が少なくなつた利用者様に、外食の雰囲気味わって頂きたいと、ミニ御幣とにぎり寿司のセットメニューを作ってみました。いつもと少し違うテーブルで、食事を楽しんで頂きました。



「モグラたたき」は、テーブルの下で職員がモグラになります。ピコピコハンマーでえい！



皆で力を合わせて「とばせ！とばせ！」ボールから枕まで



夏のハンドベル「高き山々から、谷底見ればよく自然と口ずさみます。」



ヨットレ、ヨットレ、ワッショイ！掛け声と共に、今年の出し物「よさこいパッション」キリッとした決めました。

利用者様の句

隣田の
稲田の穂波
眺めつつ
頭を垂るじ
畔にひたたる



新野高齢者生活支援ハウス

今年の夏は、とにかく暑かったですね！日当たりの良い支援ハウスは、冬暖かく、夏暑いので、北側の廊下で涼む時間が長いようでした。クーラーのあるホールには、早めの時間から集まり「涼しいなー」と言いながら、会話がはずみます。運動会では、ハッスル賞をいただく活躍でした。



グループホーム
やすらぎの郷



平成 28 年 新しく入所されました。
皆様よろしくお願ひします。



気持ち良かったよ



うまくりボンむすびできるかな



このイチゴはうまいぞ



今年もみそ作り
おいしくな〜れ おいしくな〜れ



大きな輪になって風船バレー
落とさずに、何回できるかな



『鬼は外』 今年の鬼は誰かな



家族会「安来節」
利用者様の歌に合わせて踊ったよ



たくさんの玉ねぎできたね
どれ うまくぬけるかな

調理室だより



経口維持加算

今年から「経口維持加算」が始まり、JA 歯科診療の皆さんの協力も得て、無理なく口から食べることが継続して行けるように、進めています。

身体を動かす機会が少ない寮内の生活では「お腹が空かない」「喉が渴かない」と訴える方が多く。また、血液検査などをする低栄養状態の方もあらわれるため、利用者個々の状態により、細かく料理の形態を合わせて行ける様に、調理職員も食形態や栄養量確保の方法を工夫して提供させて頂いております。



医務室だより



「暑いですね」と言う言葉がいついつい出てしまう毎日でしたがお盆が過ぎると赤とんぼの数もめっきり増え周りの風景に秋を感じる様になりました。未だ残暑が厳しい日々ですがご利用者様方は何とか暑さを乗り切つて下さりました。こまめな水分補給は今後も必要かと

「暑いですね」と言う言葉 思われます。
赤石寮では口腔ケアと並行して五月より石田歯科医師の介入によるミールラウンドを開始しております。
安全に美味しく食事を摂る事と、お口の中の清潔を保つ事を目的に誤嚥性肺炎の予防に努めていきたいと考えております。

私たち福祉サービス提供者は、利用者の方や家族の方々が常に気持ちよくご利用いただけるためにサービスの向上に努めています。福祉サービスに関するのご意見やご要望、苦情がございましたら、いつでもお気軽にお申し出ください。

平成 27 年度 赤石寮エリア苦情報告

苦情内容	件数
① サービス利用に係わる事項	2件
② 職員の接遇	2件
③ 事故・被害・損害	1件
④ 利用者間のトラブル	1件
⑤ 建物の構造に対する要望	0件
⑥ 法人・施設・事業所運営に対する要望	0件
⑦ 契約内容に関する要望	0件
⑧ 制度・施策・法律に関する要望	0件
⑨ その他（事務）	0件
⑩ その他	0件
合計	6件

	赤石寮	新野デイサービス	新野ホームヘルプ	赤石寮 居宅介護支援	やすらぎの郷
苦情受付担当者	長谷たつ江	筒井 幸二			金田 靖子
苦情解決責任者	萱垣憲英（阿南エリア長）				

事業所の職員に言いづらい場合は、第三者的に公平な立場で相談にのってくれる「第三者委員」にご相談ください。

第三者委員氏名	電話番号
田嶋美枝子様	0260 - 24 - 2355
土屋 好文様	0260 - 24 - 2577
金田 松江様	0260 - 24 - 2138